

一関コミュニティFM株式会社 FMあすも 番組審議会からのお知らせ

一関コミュニティFM株式会社 第54回番組審議会が
令和3年4月14日（水）一関市大町なのはなプラザ4階の本社会議室で開かれました。

この日は、委員5名、事業者側からは3名が出席し、3月11日（木）に放送した
東日本大震災から10年特別番組「命を守り、伝え、継ぐ」について、審議を行いました。

委員からは

「陸前高田市の語り部の方の声が深く身に染みた。震災体験者の声をテレビなどでも見聞きするが、ラジオから聞くと、伝わりやすく、心に残るように感じた」

「恐ろしさや教訓は、時がたつと薄れがちになることを実感している。

このような番組で定期的に伝え続けていくことが大切だ」

「コロナ禍で、若い世代の行動をテレビで見て、目に余ることがあるが、

この番組を通じて、若者にも「何が大切か」を見極めている人が多くいることを知った」

「体験者の言葉は、貴重な財産だと思う。文字・文章だけではなくラジオならではの『音』
として残すことを続けてほしい」

などの意見が出されました。

一関コミュニティFM株式会社では、このような意見を参考にし、
今後の番組作りに活かして参ります。